



おいしく たのしく すこやかに



森永製菓株式会社 NEWS RELEASE

2026年2月6日

カカオの国の人たちを支援する活動「1 チョコ for 1 スマイル」を題材に 森永製菓社長が「港区立芝浜小学校」で 「チョコレートで SDGs を学ぶ」出張授業を実施 「食育」活動の中期目標「2026 年度迄の 3 年間で食育体験者数 累計 20 万人」 に向け、企業が社会課題を子どもたちと考える活動を推進

森永製菓株式会社（東京都港区芝浦、代表取締役社長 COO・森 信也）は、カカオ産地の人たちを支援する「1 チョコ for 1 スマイル」を題材としチョコレートで SDGs を学ぶことができる出張授業を代表取締役社長 COO の森 信也が講師を務め、港区立芝浜小学校にて 2 月 6 日（金）に実施しました。バレンタインデーを目前に控え、出張授業を通じて、チョコレートの原料であるカカオの産地やカカオ産業をめぐる社会課題について、子どもたちが「自分ごと化」して考えるきっかけを提供しました。



当社は「食育」活動の一環として、ミルクキャラメルを題材に工業生産についての小学校 5 ~ 6 年生を対象とした「森永製菓のキャラメル教室」や、中高生を対象とした「森永製菓のキャリア授業」などの出張授業を行ってきました。昨年度から、新しい出張授業プログラムとして、森永製菓が 2008 年より行っている、商品の売上的一部分を使ってカカオの国の人たちを支援する活動「1 チョコ for 1 スマイル」を題材とし、「未来ラーニング～チョコレートで SDGs を学ぶ～」を実施しており、参加者数は 2025 年度までに累計 13,700 名に達する見込みです。

出張授業は、講師を全国の役職員から募集し、小学校の児童および中学校・高校の生徒を対象に実施しています。2025 年度までに、累計 700 名の役職員が出張授業の講師を務める予定です。今回は、代表取締役社長 COO である森が講師を務め、子どもたちに「未来ラーニング～チョコレートで SDGs を学ぶ～」を通じて、カカオの国で起こっていることや、当社の活動内容や想いについてお話ししました。当社は、「食育」活動の中期目標として、「2024 年度から 2026 年度までの食育体験者数 累計 20 万人（森永製菓単体）」を掲げています。森永製菓は 120 余年にわたり、「食」と向き合ってきました。これまででも、これからも、みなさまの笑顔とウェルネスライフのサポートとしてあり続けたいと願い、「食」を通した「心と体の健康」について真摯に取り組み、ともに学び「育」む活動を行っていきます。

■森永製菓の「食育」について

当社の特長的な「食育」活動として、「出張授業」と「森永エンゼルミュージアム MORIUM・鶴見工場見学」を提供しています。

URL : <https://www.morinaga.co.jp/shokuiku/>

「出張授業」 未来を担う子どもたちの学びをサポート

▼出張授業のプログラム一覧

プログラム名			
授業テーマ	「わたしたちの未来」を考えよう	キャラメルの歴史から 「工業生産」を学ぼう	「食のしごと」から 「働く」を想像してみよう
内容	チョコレートを題材に、社会課題を「自分ごと化」して考える授業です。カカオ産地の動画、クイズやワークなどを通して「誰一人も取り残さない」持続可能な社会について考え方行動するきっかけを作ります。	工場見学に行ったような臨場感で、ワーク・動画・クイズを通して、工業生産における工夫や努力、モノづくりへの想いを理解し、教科書の学びを深化します。	森永製菓の事業内容や仕事、働き方などを森永製菓社員からご説明し、質疑応答などの直接コミュニケーションを通じて、生徒の皆さんのが職業やキャリアを考え、働くことのイメージづくりをする機会となることを目指しています。
対象	小学校 4・5・6 年生	小学校 5・6 年生	中学校、高等学校、高等専門学校の在学生
授業風景			

「森永エンゼルミュージアム MORIUM・鶴見工場見学」 新しくて懐かしい MORINAGA に会える

森永エンゼルミュージアム MORIUM（モリウム）は、森永製菓の創業 120 年を超えて続く商品にこめる想い・こだわりの技術・おいしさのひみつを展示や映像を通して体感いただける見学施設。来場された皆様に「新しくて懐かしい MORINAGA」を体感いただき、世代を超えて楽しさや驚きを提供しています。また、鶴見工場は、小枝、ハイチュウプレミアムなどを主に製造している工場です。モリウム見学のお客様には、徒歩移動で工場見学ができます。

※生産状況によっては見学コースの機械が動いていない場合がございます。



URL : <https://www.morinaga.co.jp/factory/tsurumi/>

■「1 チョコ for 1 スマイル」のあゆみ

2008 年に創業 110 年を記念し、カカオ産地の子どもたちを支援する「1 チョコ for 1 スマイル」を開始しました。

チョコレートの原料「カカオ」が作られる赤道近くの国々。それらの国々では、十分な教育環境が整っていない、経済的な自立が難しく子どもが働かざるを得ない、などの問題もあります。「1 チョコ for 1 スマイル」は、ガーナなどカカオの国の未来を担う子どもたちの教育環境の改善や児童労働問題への取り組み、またカカオ農家の収入向上に向けた取り組みを、商品の売り上げの一部などを使って支援しています。支援活動のパートナーは、国際 NGO プラン・インターナショナルと日本生まれの NGO ACE (エース) です。森永製菓では、日本のお客様にもカカオ産地の課題を知ってもらい、一緒に考え、行動していただくことが大切と考えており、年間を通して行う寄付に加えて、お客様の商品購入やキャンペーンへの参加などのアクションが寄付につながる、お客様参加型の支援活動を実施しています。開始した当初小学生だった子どもたちも大学生や社会人へと成長。これまでに総額、約 3 億 3856 万円（2025 年 3 月時点）を支援しました。



■今年度の 1 チョコ for 1 スマイル 特別期間概要

期間：1月 5 日（月）～ 2 月 14 日（土）

内容：期間中の対象商品の売上 1 個につき 1 円を、国際 NGO プラン・インターナショナルと日本生まれの NGO ACE (エース) を通じ、エクアドルとガーナの子どもたちを支援します。

対象商品（一部抜粋）：

カレ・ド・ショコラ各種、ダース各種、小枝各種、ミルクココア、純ココア、カカオの力（ココア）、板チョコアイス、パキシエル

